

高等学校 1年 情報科 学習指導案

「情報を正しく安全に活用するための知識や技術を身につける」

日 時：平成 年 月 日（ ）

場 所：

授業者： 教諭 光浦 弥幸

1 単元名

情報発信における留意点～デジタル化とネットワークの特性～

2 単元（主題・題材）について

(1) ねらいについて

近年の情報社会において、情報の発信・収集形態は多様化し、生徒の身近なところで数多くの情報が溢れている。特にインターネットの普及にはめざましいものがあり、コミュニケーションツールとして生徒にとっても身近な存在である。インターネットを通じた様々なコミュニケーションの特性、中でもデジタル化・ネットワーク化された情報の特性を理解し、それらに適応した表現力・判断力を身に付けることは、情報社会において欠かせない能力となっている。

また、携帯電話で Web ページを閲覧、書き込みをしている生徒も多く、インターネットにおけるコミュニケーションの特徴と危険性について考え、自らの体験を元にそれに対する対処法などを話し合う機会としたい。

情報科の目標の3つの観点の中に、「情報社会に参画する態度」を育成するという観点があり、その中でも情報モラルに関しては新学習指導要領でより重視される項目となっている。本単元では、現代の情報社会において情報機器により多様化するコミュニケーション形態とその特徴を知り、なぜそのような特徴が生まれるのかを情報の技術的な面から理解した上で、危険性から身を守り、より良い情報活用につなげる能力を身に付けることをねらいとする。

(2) 生徒の実態について（1年〇組在籍数〇〇人）

男子〇〇人女子〇〇人の計〇〇人のクラスであり、明るく素直な生徒が多い。ほとんどの生徒が携帯電話を持っており、使用用途は電話よりもメールや Web サイト閲覧が多い。プロフ・ブログなどの Web サイトを半数以上が利用しており、携帯電話所有者のほとんどが友人のサイトを閲覧もしくは書き込みをしたことがある。生徒の中には Web サイトの危険性を認知し、情報発信に気を配る者もいる中、安易な書き込みにより個人情報流布している生徒も見受けられる。

(3) 資料について

●使用教科書：実教出版 『最新情報A』 岡本 敏雄、山極 隆

第2章「ネットワークの活用」第3節「ネットワーク利用の心がまえ」

- 提示する web ページの例については、3段階の「個人情報や顔写真等が載っており、本名等が記載していなくても個人が特定できるような内容のもの」を利用する。

(4) 指導にあたって

- ア インターネットを通じたコミュニケーションについて、インターネットの特性を理解した上で考えさせる。
- イ デジタル化、ネットワーク化された情報の特性を理解させ、その特性によってどのようなことが起こりうるかを予測し、その対処法について考える。

(5) 情報モラル教育の視点から

- ア 本時は、「モデルカリキュラム」の目標「3. 安全への知恵」項目「d 4～d 5：危険を予測し被害を予防すると共に、安全に活用する」「e 4～e 5：情報を正しく安全に活用するための知識や技術を身につける」、「5. 公共的なネットワーク社会の構築」項目「i 4～i 5：情報社会の一員として、公共的な意識を持ち、適切な判断や行動ができる」との関連を重視して展開する。
- イ インターネットを通じたコミュニケーションについて、1対1、1対多などの形態や同期、非同期などの特性について意識し、その特徴について考える。
- ウ 具体例から危険性を発見し、それぞれの手段に応じた情報発信について理解する。

(6) 人権教育の視点

- ア 自分の考えを、自信を持って発表できるような支持的風土づくりに努める。
- イ 他の人の意見も尊重しながら、共に学習しようとする態度を育てる。

3 単元（主題・題材）の観点別目標

|          |  |
|----------|--|
| 関心・意欲・態度 | コミュニケーション手段やそれらの特性、問題点などについて、積極的に話し合いに参加し考えようとする。                        |
| 思考・判断    | コミュニケーションにおけるモラルやマナーについて配慮する。<br>インターネットの特性による問題点を既習事項や実体験を通して考え、対策を考える。 |
| 技能・表現    | 課題について班ごとに積極的に討議し、その結果や検討事項を表現する。  |
| 知識・理解    | 様々なコミュニケーション手段や特性、それに伴う問題点について理解する。<br>デジタル化とネットワークの特性、それに伴う問題点について理解する。 |

#### 4 指導・評価の計画

|   | 時         | 学習活動  | 指導上の留意点   | 評価項目（方法）   |
|---|-----------|---|---|--|
| 1 | 1         | インターネットにおける様々なコミュニケーション手段の特徴を知り、その長所、短所について考える。 | コミュニケーションの形態と特性、それに伴う問題点について日常生活と照らし合わせながら考えさせる。      | 様々なコミュニケーション手段について学習できているか（ワークシート）<br>話し合いで積極的に発言しているか（行動観察）   |
|   | 2<br>(本時) | デジタル化とネットワークの特性を知り、その対処法について考える。                | デジタル化とネットワークの特性を生徒が理解しやすいよう具体例を挙げながら説明し、対処法について考えさせる。 | 話し合いで積極的に発言しているか（行動観察）<br>デジタル化とネットワークの特性を学習できているか<br>(ワークシート) |

## 5 本時の学習 ( 2 / 2 時間 )

### (1) 目標

デジタル化とネットワークの特性を理解し、危険を回避する方法について考える。

### (2) 展開

| 過程  | 学習活動と主な発問  | 生徒の反応   | 指導上の留意点と評価  | 備考 |
|---|--|---|---|----|
| 導入<br>5分  | ①記載情報の異なる3つのプロフを見せる。<br>「前回、危険性について考えたプロフだが、プロフは昔から存在していた。インターネットだからこそ危険性が叫ばれているのだけれど、その理由を、インターネットの特性から考えてみよう。」 | 3つのプロフから情報を読み取り、プロフが誰のものか当てようとする。<br><br>自分の情報発信と比較しながら考える。                     | 記載情報の量が少ないものから順に表示する。<br><br>氏名を明記していなくても個人は特定でき、住所の詳細を伝えなくても危険性は存在する旨を伝える。           |    |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習課題</p> <p>デジタル化とネットワークの特性を理解し、危険を回避する方法について考える。</p> </div>  |  |   |   |    |
| 展開<br>5分  | ② (Step-1) 紙、メディア、インターネットそれぞれの媒体について、情報の受信者はどのようなものかを考える。  | 特性を考えながら板書する。<br>前時の情報発信者の特徴と比較しながら考える。   | 紙、メディアに比べると、インターネットは見る人の範囲が広がり、閲覧できる時間も長くなることを伝える。                                    |    |
| 10分   | ③(Step-2)デジタル化とネットワークの特性について考える。<br>「そもそもインターネットだとどうして危険なのだろうか。インターネットの特性であるデジタル化・ネットワークの特性から考えてみよう。」            | デジタル、ネットワークの意味をわからない生徒がいる。<br><br>デジタル化とネットワークの特性によって可能になった様々な技術を知り、その可能性に感心する。 | ・デジタルとネットワークについて、簡単に説明する。<br>・デジタル化とネットワーク化の特性について、具体例を示しながら説明する。(この時点ではメリットを象徴的に挙げる) |    |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>評価</p> <p>既習内容をもとに、考えることができているか。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価</p> <p>ワークシートにまとめることができているか。</p> </div> |  |   |   |    |

|          |  |   |  |  |
|----------|--|---|--|--|
| 10分      | ④ (Step-3) 班ごとに危険性が高まる要因 (デジタル化、ネットワーク化の特性から) を考える。<br>「〇〇なので〇〇かもしれない」     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単に加工できるので、写真にいたずら書きされるかもしれない</li> <li>・品質を落とすこと無く複製できるので、海賊版 DVD などの問題が出るかもしれない</li> </ul> | <p>班長と発表者を決めさせ、話し合いが活性化するように促す。</p> <p>特性と危険性を結びつけて考えるよう指示する。</p>  |  |
| 10分      | ⑤発表  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰でもコミュニケーションできるので、知らない人にストーカーされる、事件に巻き込まれる など</li> </ul>                                    | <p>挙げた意見を生かしながら特性と関連づけて説明する。</p>   |  |
| 5分       | ⑥(Step-4)危険を回避する対策を考える。<br>「では、どうすれば危険を回避できるかについて具体的に考えてみよう。」              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・むやみに個人情報を書かない、顔写真を載せない、顔写真を載せる場合は細工して載せる、パスワードをかける、SNS など閲覧制限のあるサイトを利用する など</li> </ul>      | <div data-bbox="970 786 1385 1014" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価<br/>デジタル化とネットワークの特性を押さえた上で、具体的対策について意見を出すことができるか。</p> </div> <p>班ごとに異なる意見を出すよう促す。</p> |  |
| 終末<br>5分 | ⑧まとめ<br>「デジタル化、ネットワーク化の特徴によって危険性が増すことを理解し、それらを念頭に入れてコミュニケーションツールを活用していこう。」 | <p>授業の内容を振り返る。<br/>事例はどの特性から起こったものかを考える。</p>  | <p>具体的事例を挙げ、その事例はどの特性から起こったものかを考えさせる。</p> <p>影の部分を見るだけではなく、それを知った上でより良いコミュニケーションツールとして活用してほしい旨を伝える。</p> <p>ワークシート回収</p>  |  |